

現實同盟歡願書之對ニル回答狀現

一、労働組合の養成致し度

本件ニ関シ會社側ニ於テハ穩健適法ナル勞働組合ナラバ之ヲ承認ス  
ニ職首者ヲ復職致サシメ度ニ

二、職首者ヲ復職致サレ度ニ

事件ハ會社側ノ要求ニ依リ提出者側ヨリ撤回ス

三、出勤停止者ヲ即時取消シ度シ

六件ハ取調、上改悞、情顯著ナル者ハ三ノ解除就業セシムベシ

四年功手當ニ支給致シ度シ

本件ハ目下詮議中ナルヲ以テ近ク發表スベシ

五、被服貸方法ヲ改メ度ニ

而外套使用期限八現在一通リ二  
三適當ナル物品ヲ支給ス

心退社ノ際ハ現立夏冬服各ニ着宛ヲ次納レツ、アルモノヲ改正シ夏冬服各

一着に及ぶ迄に返納スベシ

六、軍車ヲ廃止セリ車ヲ使用致メレ度ニ

本件ハ目下ホギノ車三輛ヲ新造中ナルヲ以テ出来次第即將之ヲ使用ス

七、信号手ニ精勤賞ヲ支給せうし度

金柜總

提出者側ニ於テ又之ヲ諒トシ見書シ作製袖印上一通宛々所持スル事トナリ

「罪状」

檄

(原文の儘)

親友同志諸君に訴ふ！

我が王子電鉄経営員は今回一先藤に亘る待遇改善の嘆願書を會社に提出し、東京市電自派會不  
却の指導の下に運動を継続し、来りしも遂に十名同志をして職をせむるに至り、は誠に迷城に堪え  
ざる計である。之を見たり自派會改定月會に於ては速ちに緊急執行委員会を組織し、は急事  
を遂げ、東水の左右両翼をイキサツを振起して、我が王電爭議に對し徹底的な支援を決議し、現実は世  
北新聞會を中心として、演説會の参加並に支援、ビラの配布等極力其は闘争を開始された。  
然るに我等最も怪疑に堪えなかりは本部側に於て深意ある現実問題の支援に對し極めて  
冷淡なる態度を採り去る十二月六日に王子演藝館に於て開かれた急派會には改定月會代表  
の演説を拒絶し、本部執行委員の秋松五郎氏の如きはカラクリでもあふかの如き口吻を  
以て憤然として現実は無以對する演説を為したものである。然しながら悉く自派會本部  
の運動戦略に形し、牛馬の如く急案件を支援するから使用して貰いたい。――と申出を